

一般社団法人日本小児血液・がん学会
第87 回理事会議事録

日 時:2025 年 5 月 16 日(金) 10:00~12:00 よるオンライン開催
出席者:米田 光宏、加藤 元博、盛武 浩、家原 知子、大植 孝治、木下 義晶、富澤 大輔、
真部 淳、山崎 文之、義岡 孝子、余谷 暢之、上原 秀一郎、大平 美紀、
櫻井 英幸、後藤 裕明、滝田 順子、竹之内 直子、野上 恵嗣(以上理事)
多賀 崇、滝 智彦(以上監事)
足立 壯一(第 66 回学術集会会長)
田尻 達郎(第 67 回学術集会会長)
松本 公一(第 68 回学術集会会長)

冒頭に、本日の理事出席者数は理事18名中18名であり、定款施行細則第8条第3項に定める成立定足数を充たしているため、本理事会は成立することを確認し、理事長 米田光宏は議長となり、審議に入った。

I. 前回議事録(案)の確認

議長より、前回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

II. 審議事項

1. 入会申請者の件

庶務・財務委員会の上原担当理事より、現在の会員数の報告とともに入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

2. 定款および施行細則変更について

規約委員会の盛武担当理事より、定款および施行細則の変更について示され、定款変更にかんしては異議なく承認された。施行細則の変更については次回理事会にて再度審議を行うこととなった。

3. 評議員新規申請、更新について

評議員等資格審査委員会の山崎担当理事より、本年度新規申請28名について、定款施行細則第1条に則り評議員の資格の審査を行った結果、全申請者が資格条件を満たすとして28名全員を新評議員とし、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。また、評議員の資格更新については、2025年度の評議員資格更新の対象となった評議員44名のうち、更新辞退者1名、および、更新申請の無かった1名を除く42名について、改訂施行細則第2条に基づいて更新新可と判定したこと、2025年度社員総会後に資格喪失定年(66 歳以上)を迎える評議員6名のうち、名誉会員推戴となる1名を除く5名について、定款施行細則第3条に則り、資格喪失と判定したことが示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

4. 名誉会員の推戴について

米田理事長より 2025年度の名誉会員推戴について定款及び定款施行細則に則り下記の1名について資料に示されたところ異議なく承認された。2025年度定時社員総会にてその承認を求めることとなる。

【名誉会員候補者】

大賀 正一 (九州大学)

5. 第66回学術集会収支報告について

第66回学術集会の足立会長より、同学術集会の余剰金の用途について、小児がんに関わる

活動を行っている団体への寄付について提案された。余剰金については学会本体へ戻したのちに、理事会で寄付金を含む用途について再度検討することとなった。

6. 臨床研究中核病院の承認要件見直しについて

臨床研究中核病院の承認要件見直しについて、本会からの要望書提出について依頼のあった独立行政法人国立病院機構齋藤俊樹氏が理事会へ陪席し、本件について資料とともに説明いただいた。今後、要望書の内容を再検討していただいた上で、本会より要望書を提出することとなった。

7. 2024年度事業報告、決算報告について

米田理事長より、2024年度の事業報告が資料とともに説明され、異議なく承認された。また、庶務・財務委員会の上原担当理事より、2024年度決算について、公認会計士監査、並びに、本会監事による会計監査が行われたことが資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

8. 2025年度事業計画、予算案について

米田理事長より、2025年度の事業計画が資料とともに説明され、異議なく承認された。また、庶務・財務委員会の上原担当理事より、2025年度予算案について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

9. 定時社員総会次第について

庶務・財務委員会の上原担当理事より、2025年度定時社員総会の次第案が資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。。

10. R8年度診療報酬改定提案について

保険診療委員会の後藤担当理事より、R8年度診療報酬改定提案について資料に示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

11. アレモ皮下注 15mg の薬価収載取り下げについて

保険診療委員会の後藤担当理事より、アレモ皮下注 15mg の薬価収載取り下げについてノボノルディスク社からの説明を受け、収載取り下げは妥当と判断したことが示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

12. エトポシド販売停止

保険診療委員会の後藤担当理事より、エトポシドの販売停止についてはサンド社より、販売終了を補える状況になったとの報告を受け、販売停止を承認すると判断したことが示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

13. 塩酸ピラルビシン使用状況アンケート調査

保険診療委員会の後藤担当理事より、国立がん研究センター小児腫瘍科、爲房宏輔先生、荒川歩先生から、塩酸ピラルビシンの全国における査定状況を調査したいとの要請について委員会審議の結果承認と判断したことが示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

14. コスメゲン供給について

保険診療委員会の後藤担当理事より、コスメゲンの安定供給について、日本癌治療学会と共同提案を行う予定であること、製薬企業から進捗の報告を受けたことが報告された。

15. ボンベンディ在宅自己注射指導料の要望について

保険診療委員会の後藤担当理事より、ボンベンディ在宅自己注射指導料についての要望書が

示され、議場にその承認が求められたところ異議なく承認された。

16.学会誌の査読の諾否について

学会誌編集委員会の加藤担当理事より、学会誌の査読について、評議員に広く査読を受諾してもらえるような方策を制度の導入について提案され、引き続き検討を進めることとなった。

17.白血病リンパ腫小委員会の欠員補充について

疾患委員会の野上担当理事より、欠員となっている白血病リンパ腫小委員会の新委員として公募のあった下記1名を委員とすることが報告され、異議なく承認された。

堀 大紀(札幌北榆病院小児思春期科)

18.国立研究開発法人国立成育医療研究センターとの業務委託契約について

米田理事長より、本会の疾患登録事業に関わる業務委託について、国立研究開発法人国立成育医療研究センターとの業務委託契約書が議場に示され、その承認が求められたところ意義なく承認された。

19.日本産科婦人科学会から要望について

米田理事長より、日本産科婦人科学会から提案のあった、「重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査(PGT-M)」に関する審査に対する報告・承認、並びに課題の検討を継続的に行う「運営委員会」の設置に関する要望について示され、本件への本会の賛同についての承認が求められたところ、意義なく承認された。

20.「日本小児血液学会と JPLSG とのデータ授受に関する覚え書き」の現状に即した更新について

学術・調査委員会 木下担当理事より、本件について JCCG と現状確認および協議を行ったことが報告され、覚書の更新について資料に示され、異議なく承認された。

21. 小児がん診療ガイドラインの COI について

診療ガイドライン委員会の盛武担当理事より、「小児がん診療ガイドライン」の関わる学会員の COI 開示について、開示対象は関わった全ての学会員ではなく、作成委員会に限定することが提案され、異議なく承認された。

22. 教育セッション謝金について

教育・研修委員会の大植担当理事より、学術集会時に開催される教育セッションの講師について、これまでは非会員にのみ謝金が支払われていたが、今後は学会員についても謝金を支払うことが提案され、異議なく承認された。なお、謝金は他セミナーなどと金額を合わせ、非会員 40,000円(大会校にて負担)、学会員 20,000円(学会にて負担)とする。

Ⅲ. 報告事項

1. 庶務報告

庶務・財務委員会の上原担当理事より、本会の正会員、評議員、賛助会員等の会員状況について報告された。

2. 学術集会報告

1) 第67回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第67回学術集の田尻会長より、2025 年 11月19日(水)～21日(金)に開催予定の第 67 回学術集会の準備状況について報告された。

2) 第68回日本小児血液・がん学会学術集会報告

第68回学術集会松本会長より、前回理事会後に運営事務局選定を決定し、現在プログラムを

検討中であることが報告された。

3.委員会報告

1) 学術集会プログラム委員会

家原担当理事より、現在、第67回学術集会のプログラムについて、上級演題や日韓シンポジウム、女性・若手活躍シンポジウムなどの企画を行っていること、また、二重発表に対する取り扱いについて検討していることなどが報告された。

2)学術・調査委員会

木下担当理事より、2件の学会員へのアンケート要望、1件疾患登録データの提供依頼の対応を行ったこと、また、「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」の代表者変更のための研究計画書と同意説明文書の改訂作業中であることが報告された。

3)専門医制度委員会

富澤理担当理事より下記について報告された。

- ・研修施設 107 施設に対して、小児血液・がん専門医研修施設現状調査を実施
- ・9月13日(土)、14 日(日)の専門医試験に向けて、試験問題ブラッシュアップ会議を6月14日(土)、15 日(日)に実施
- ・2025年度の専門医更新結果
 - 専門医更新 106 名(更新予定者 129 名中)
 - 指導医更新 79 名(更新予定者 97 名中)
 - 認定外科医更新 9 名(更新予定者 18 名)
 - 認定外科医再申請 1 名
 - 研修集会 0 件(更新予定 1 件)
- ・日本専門医機構サブスペシャリティ(サブスペ)領域専門医への申請
今後、小児科領域サブスペ連絡協議会での検討(7・8 月の見込み)を経て、日本小児科学会理事会に諮り、その承認後にサブスペ連絡協議会を通じて機構に申請することになる。最終的に機構のサブスペ認定を受けた場合、新専門医制度への移行に向けて、当学会内での専門医制度規則および施行細則の改正が必要になり、社員総会での承認が必要となる(場合によっては臨時の社員総会開催)

4)将来計画委員会

米田理事長より、委員会を実施し、下記について検討したことが報告された。

- ・PMDA からの申し出について
令和 6 年 10 月 23 日付厚生労働省医薬局医薬品審査管理課長通知(医薬審初 1023 号第 3 号)「日本人患者を対象とした臨床試験成績なしに承認申請を行うことが可能な場合」について、販売後の調査を行う場合、当学会に対象施設を決定することが求められる可能性がある。その際の取り扱いについて検討。
- ・女性医師支援について
会員、評議員における女性医師の割合について確認し、今後女性医師活躍支援委員会とも協力して支援策を策定することが重要であるとされ、女性評議員に積極的に委員会活動を行っていただき、女性医師会員にさらなる学会への貢献を期待する。
- ・担当理事制の見直し
委員会によって業務料に違いがあるため、それを考慮した担当理事制の見直しなど、今後も検討を継続していく。

5)長期フォローアップ・移行期医療委員

米田理事長より、長期フォローアップ・移行期医療委員会の2024年度の活動について4回

の研修会、1回のアドバンス研修を例年通り実施したことなどが資料に示され、報告された。

IV.理事長報告

米田理事長より、「がんの子供を守る会 年次大会の後援名義」、「厚労省医薬品審査管理課の節外性 NK_T 細胞リンパ腫・鼻型治療薬の最適使用推進ガイドライン作成への本会会員の推薦」について、それぞれ対応したことが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印又は署名する。

令和7年5月16日
日本小児血液・がん学会 第87回理事会

理事長 米田 光宏

監 事 多賀 崇

監 事 滝 智彦